

タイトル

## 安全なインプラント手術を実現するための歯科医療リスクマネジメント

大渡凡人

高齢はインプラント手術の絶対的禁忌ではないといわれています。このため、著しい人口高齢化を背景に、インプラント手術を受ける高齢者は増えているようです。高齢者の重要な特徴の一つに、多様で、しばしば重篤な全身疾患を持つことが挙げられます。このことは、インプラント手術などの侵襲的処置により全身的偶発症の頻度が増えることを意味します。

25年以上前に、高齢者の歯科医療リスクマネジメントを始めた頃には、全身疾患をもつ高齢歯科患者は本当に少なかったのです。しかし、重篤な全身疾患を有する高齢者は徐々に増え、2年ほど前に九州に戻る頃には、有病高齢者ばかりになり、全身的偶発症も大幅に増え、本当に忙しい毎日になっていました。

インプラント手術における全身的偶発症の詳細は不明ですが、そのリスクは年々上昇していることが予測されます。「医療安全」は、我々、歯科医療従事者にとって昔も今も説明不要の必要条件ですが、高齢化がその優先順位を押し上げているといえます。そのうえ、医療事故に対する社会的制裁は格段に厳しいものになっています。

このような時代に安全安心なインプラント手術を行うためには、医学的エビデンスに基づいたリスクマネジメントがどうしても必要です。演者は、そのプロセスを、「予防」、「早期発見」、そして「対応」の3つに分けて考えています。このうち、我々にとって最も有効なのは「予防」です。

医学的に正しく、有効な予防手段を講じるためには、患者の医療情報(病歴・薬剤情報、理学的検査データ、医師からの医学的情報など)を入手し、全身状態を評価し、起こりうる全身的偶発症を論理的に「予測する」しなければなりません。そのうえで、予測される全身的偶発症の発生リスクを低下させるには、どのような手段を講じればよいかを、論理的に考え、実行する必要があります。この作業は地味で、経済的インセンティブも見えにくいものですが、先に述べた理由から、これから一段と重要になるのは間違いのないといえます。

今回は、全身疾患をもつ患者のインプラント手術において、どのような予防を行えば、安全に目的を達成できるか、について、わかりやすく解説させていただく予定です。

## 経歴

1983年 九州歯科大学卒業  
1983年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科歯科麻酔学入学  
1987年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科歯科麻酔学修了  
1987年 新潟大学歯学部第1口腔外科学講座助手  
1989年 東京医科歯科大学歯学部歯科麻酔学講座助手  
2000年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔老化制御学講師  
2006年 国立大学法人東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科助教授  
2007年 国立大学法人東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科准教授  
2016年 公立大学法人九州歯科大学口腔保健・健康長寿推進センター教授

## 現職

公立大学法人 九州歯科大学 口腔保健・健康長寿推進センター教授  
東京医科歯科大学非常勤講師  
九州大学非常勤講師

## 認定医・指導医

日本歯科麻酔学会認定歯科麻酔専門医・認定医  
日本老年歯科医学会認定医・指導医  
日本障害者歯科学会認定医

## 著書

### 1 著書

1. 大渡 凡人(単著),全身の偶発症とリスクマネジメント—高齢者歯科診療のストラテジー,1-350,医歯薬出版,2012
2. 大渡 凡人(単著),高齢者歯科臨床ナビゲーション(疾患別内科エマージェンシー対応),1-300,医歯薬出版,2003
3. 大渡 凡人(編集、共著),口から食べるストラテジー,"在宅歯科医療のニーズ①歯科診療で配慮すべき全身の問題",28-39,デンタルダイヤモンド社,2014
4. 大渡 凡人(共著),疾患を有する高齢者の口腔健康管理,第7章 脳血管疾患患者の口腔健康管理,134-160,口腔保険協会,2017
5. 大渡 凡人(共著),スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科 第2版,難病(特定疾患),200-205,医歯薬出版,2017

6. 大渡 凡人(共著),高齢者への戦略的歯科治療 自立高齢者にしておきたいこと 寝たきり高齢者にできること,第6章 口腔外科治療 1 ライフステージを見据えた高齢者の口腔外科治療,92-94,医歯薬出版,2017
7. 大渡 凡人(共著),有病者歯科学,13) 悪心、嘔吐、下痢,90-93,永末書店,2018
8. 大渡 凡人(共著),老年歯科医学,リスク管理,332-334,医歯薬出版,2015
9. 大渡 凡人(編集主幹),歯科衛生士のための食べるを守るシームレスケア -急性期・回復期・施設・在宅における口腔健康管理-,1-108,医歯薬出版,2018
10. 大渡 凡人(共著),続 5 疾病の口腔ケア-プロフェッショナルな実践のための Q&A55-,5.急性心筋梗塞で経口挿管されていますが、動揺歯があり脱落のリスクがあります。どうしたらよいでしょうか?,136-137,医歯薬出版,2016
11. 大渡 凡人(共著),歯科衛生士のための ポケット版 最新歯科用語辞典,クインテッセンス出版,2016
12. 大渡 凡人(共著),一般医のための高齢者糖尿病診療マニュアル,6F 歯周病、そして口腔ケア,117-121,メディカルサイエンスインターナショナル,2015
13. 元橋靖友、植松宏、大渡 凡人(共著),病気とくすりハンドブック パーフェクトガイド,神経・筋疾患 1.脳梗塞,113-115,医歯薬出版,2015
14. 元橋靖友、植松宏、大渡 凡人(共著),病気とくすりハンドブック パーフェクトガイド,神経・筋疾患 2.脳出血・クモ膜下出血,116-119,医歯薬出版,2015
15. 元橋靖友、植松宏、大渡 凡人(共著),病気とくすりハンドブック パーフェクトガイド,神経・筋疾患 3.パーキンソン病,120-123,医歯薬出版,2015
16. 大渡 凡人,歯科におけるくすりの使い方 2015-2018,口腔保湿剤 oral moisturizers ( saliva substitutes ) ,378-86,デンタルダイヤモンド社,2014
17. 大渡 凡人(共著),日本老年歯科医学会監修 高齢者歯科診療ガイドブック,外来における歯科診療-外来通院患者の現状と問題点への対応-,106-114,口腔保険協会,2010
18. 大渡 凡人(共著),歯科衛生士のためのペリオドンタルメディシン-全身の健康と歯周病との関わり-,II 2.循環器疾患の患者さんへの歯周治療 ①心臓弁膜症患者への術前の歯科治療,24-27,医歯薬出版,2009
19. 大渡 凡人(共著),口腔保健推進ハンドブック,Part2. 3(6).高齢者・要介護者の歯科治療のリスクマネージメント,102-106,医歯薬出版,2009
20. 大渡 凡人(共著),スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科,難病(特定疾患),204-210,医歯薬出版,2009
21. 大渡 凡人、植松宏(共著),歯科衛生士のための高齢者歯科学,第 10 章 歯科診療時に注意する全身疾患,175-192,永末書店,2005
22. 大渡 凡人(共著),歯科衛生士のための臨床論文の読み方-歯科二次情報集-,歯科衛生士別冊,下顎枝矢状分割法による骨切り術の感染予防を目的とした抗菌薬投与は術前 1 回でよい,120-122,クインテッセンス出版,2004
23. 大渡 凡人(共著),歯科衛生士のための臨床論文の読み方-歯科二次情報集-,歯科衛生士別冊,下顎第 3

大臼歯抜去後の歯槽骨炎予防にクロルヘキシジンによる口洗+クラブラン酸カリウム・アモキシシリンは有効である,117-119,クインテッセンス出版,2004

24. 大渡 凡人、植松宏(共著),高齢者歯科ガイドブック,II.加齢に伴う身体的変化、III.高齢歯科患者の術前評価,21-29,医歯薬出版,2003

25. 大渡 凡人、植松宏(共著),Quintessense Year Book 2002,全身管理下歯科治療,326,クインテッセンス出版,2002

26. 大渡 凡人、海野雅浩(共著),有病者・高齢者歯科治療マニュアル,高齢者に起きやすい偶発事故,222-230,医歯薬出版,1996

#### DVD

1. 大渡 凡人ベーシックプログラム 歯科治療における緊急時対応日本訪問歯科協会 DVD, 2012.

2. 大渡 凡人.訪問歯科診療のリスクマネジメントと緊急時対応, 日本訪問歯科協会, DVD, 2014.